



観海校



教育目標 : 考える子ども やさしい子ども たくましい子ども

新地小HP

学びは「体験」からはじまる！



子ども達に育んでほしい力はたくさんありますが、特に大切なのは「好奇心」、「協調性」、そして「挑戦する力」ではないでしょうか。学習指導要領では、これらをまとめて「**学びに向かう力**」と表現しています。

子どもが初めてのものやことに出合うとき、不安や緊張を感じる以上に、「やってみたい!」「どうなっているの?」「なぜだろう?」といった探究心が次々と湧き上がってきます。この**知的好奇心**こそが「学び」の始まりなのです。

失敗の数だけ 成長 できる！

「失敗は成功のもと」とはよく言いますが、失敗を「怖い」と感じるのも正直な気持ちです。しかし、失敗を恐れてチャレンジをためらってしまうのは、もったいないことです。子どもの頃にたくさんの失敗を経験しておくことは、大人になって必ず生きてくる財産になります。

ここで大切なのは、私たち**大人の働きかけ**です。

失敗を責めるのではなく、

まずはチャレンジしたことを褒め、

なぜ失敗したのかを一緒に考え、

成功につながる**アドバイス**をしてあげましょう。

決してやってはいけないことは、子どもが経験すべきことを**大人がやってあげる(解決する)**ことです。私たち大人が、子ども達の好奇心を信じ、失敗を恐れず挑戦できる環境(体験の場)を整え、支援してあげることが、学びに向かう力を育む第一歩となるのです。



人に従う人ではなく、ルールに従う人に！

5月26日(月)の全校集会で、子ども達に「どうしてルールは必要なのか？」というテーマでお話しました。私たちは、社会の中で生きていく上で、様々なルールやきまりに囲まれています。学校には学校のルール、地域には地域のルール、そして家庭にもそれぞれのルールがあります。これらのルールは、集団生活を円滑にし、みんなが安心して過ごすために設けられています。

もちろん、人の意見を聞くことや、周りの人と協力することはとても大切です。しかし、もし誰かが「こうしなさい!」と言ったとしても、**それが正しいことなのか、ルールに沿っているのかをきちんと考える**必要があります。ただ人に言われたからやる、という姿勢ではいけません。もしその指示が間違っていたり、誰かを傷つけるようなことだったりした場合に、自分も周りも不幸にしてしまう可能性があるからです。

大切なのは、「**なぜこのルールがあるのだろう?**」と立ち止まって考えることです。ご家庭でもぜひ、身の回りのルールについてお子さんと話し合う時間をもってみてください。「どうしてこのルールがあるのかな?」「このルールを守らなかったらどうなるかな?」といった問いかけを通じて、子ども達が自ら考え、判断する力を育てていければ幸いです。

自分の行動を振り返ってみよう!

☆どうしてルールは必要なのか?

みんなが **気持ちよく** **安全に** **迷わずに** **公平に** **生きていく**ため

あなたの行動は

Q1 みんなのことを考えていますか?

Q2 気持ちのよいことですか?

Q3 安全ですか?

Q4 まわりの人を迷わせていませんか?

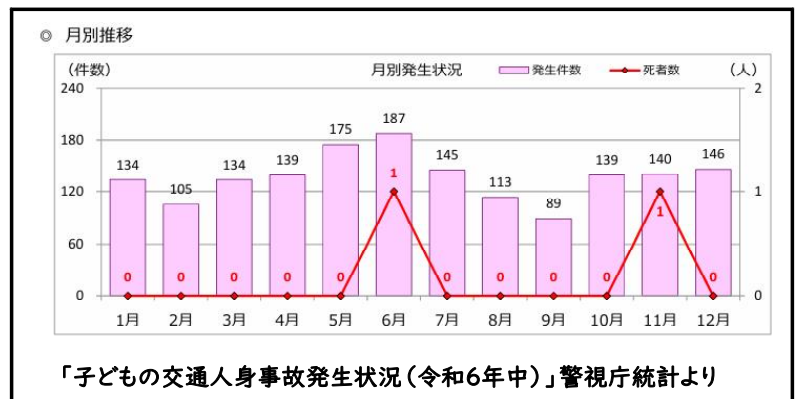
Q5 公平ですか?

2025.5.26 全校集会「ルールについて考えよう!」より

児童事故「魔の6月」に警戒!

全国的に6月は児童の交通事故が多発する傾向にあり、「**魔の6月**」とも呼ばれています。新入学児童が学校生活に慣れ、行動範囲が広がる一方で、危険予測がまだ十分にできないこと、また、梅雨入りによる視界不良や路面状況の変化などが要因として考えられます。

学校でも、子ども達が安全に学校生活を送れるよう指導を徹底してまいります。ご家庭におかれましても、下記の点についてお子様とご確認いただき、地域全体で子ども達の安全を見守っていただければ幸いです。



○交通ルールやマナーの確認

→ お子様と一緒に通学路を歩き、危険な場所や注意すべき点を再確認してください。

○家庭での声かけ

→ 「行ってらっしゃい!」の声かけとともに、安全に関する注意喚起をお願いします。

○地域の(ながら)見守りへのご協力

→ 登下校時の見守り活動や、不審者情報の共有など、地域での連携にご協力をお願いします。